

2018年9月25日

空き家対策問題に新提案！

朽ちていく古民家を企業保養所にリノベーションし、地域活性化を図る！

～古民家×保養所×休み方改革＝企業活性化。企業の福利厚生施設として、新たな提案を～

クリエイティブなオフィス空間を提案する吉武工務店（代表取締役社長吉田丈彦 本社：東大阪市）は、企業が社員とのコミュニケーションを促進し、福利厚生の充実や働き方改革につなげることを目指しています。また、増え続ける空き家の再利用をし、企業の保養所と融合させたプロジェクトが始動しました。4月10日よりスタートした古民家再生保養所事業第一号物件のリノベーション工事がついに完成しました。一号物件は、当面は自社保養所「Yoshitake村」として使用します。また、その経験を活かして、関西圏内を中心に物件選定からプランニング、施工、使用提案までを手がけ、オフィス近郊で多様な働き方ができる空間づくり支援を加速します。

念願の保養所づくりの完成

当社は中小企業を元気にするため、ひらめきが生まれるトイレ、リラックスできる休憩室、コミュニケーションが深まるバーカウンターなど、意欲や創造性を高められるオフィス空間を企業に提案していました。長らく、夢を語り合える自社保養所を社員全員で作りたいと思っており、淡路島で物件を探していました。洲本市の南で条件の合う古民家が見つかったことから、「淡路島古民家プロジェクト」を社内で立ち上げ、古民家を保養所として再生する、「Yoshitake村」づくりがスタートしました。工事がスムーズに進まないことも多々ありましたが、この度自社保養所「Yoshitake村」が遂に完成しました。



社員全員で、自分たちの夢をひとつずつ形に

4月10日より建物を解体して工事が始まり、残すは外構工事のみとなりました。海が一望できる場所に信楽焼の露天風呂を設置している他、グランピングも計画しています。また、室内には囲炉裏を設置しており、囲炉裏を囲み、社員同士で夢を語り合うことができます。完成後は自社の保養所としてだけでなく、サテライトオフィスとしても活用していきたいと考えています。また、高齢化が進んでいるこの地域で、農作業やイベントを行い交流することで、地域活性化に繋がっていきたいです。

社員と一緒につくる保養所、多様な働き方ができる空間づくりなど、今回の経験をもとに古民家再生保養所を中小企業に提案し、社員とのコミュニケーション促進や、休み方改革を社内で推奨していくことで、中小企業を元気にすることを目指します。



本件に関するメディアからのお問い合わせ先

株式会社 吉武工務店 担当：吉田丈彦（携帯：090-1590-0684）

〒579-8064 大阪府東大阪市池島町1-6-52

TEL:072-985-7171 FAX:072-985-5353 E-mail: info@yoshitake.ne.jp

HP: <http://www.reform-office.co.jp/index.html>

■物件概要

所在地	〒656-2532 兵庫県洲本市中津川組 105
築年数	築約 80 年 木造軸組平屋建 伝統工法
敷地面積	約 320 坪
床面積	約 40 坪

■内覧会情報

- ・メディア様向け内覧会 10月4日(木)・5日(金) 13:00~18:00
- ・企業様向け内覧会 10月12日(金)・13日・14日(日) 13:00~18:00

■企業概要

社名	株式会社吉武工務店
所在地	〒579-8064 大阪府東大阪市池島町 1-6-52
資本金	3000 万円
代表者	吉田丈彦
社員数	12 名
設立	昭和 40 年 8 月
事業内容	建築総合請負・一般建築士事務所・不動産全般

■地域、そして企業の活性化を目指して

普段の生活とひと味違う場所で過ごすことで、今まで見えなかった景色が、見えるようになるのではないのでしょうか。休日に古民家で過ごしながらか、地域住民との交流も深め、地域活性化に繋がってほしいです。また、このような古民家保養所を持つことで、中小企業の休み方改革を提案することで、企業の活性化になっていくと思います。

